

ほっこりだより

第68号 2014年3月2日 発行

人はパンだけでは・

◎日本の幸福度は低い・

昨年、国連で世界の幸福度を調べました。日本は豊かで安全、教育も行き届いている。だから世界では最も幸せな国に入るだろうと思います。しかし、残念ながら四十三番目という低い順位です。どのように思われますか・・・。

上位には、デンマーク、ノールウェー、スイスなど欧州の国々が並んでいます。幸福度とは富裕度、健康度、教育度、自由度、困った時頼る人いるか、犯罪の発生などが尺度です。

◎日本は豊かだが、心の満足は・

日本は経済大国です。アメリカ、中国に次いで三番目です。豊かなら幸福のはずですが、違うようです。アメリカの幸福度は十七位、中国は九十三位です。

幸せとは、物の豊かさ、便利さ、快適さだけではないでしょう。なぜなら、二年ほど前「ブータン国王が来日して話題になったことですが、「ブータンは世界一幸福な国」とのことです。しかし、豊かでも、便利な国でもありません。しかし、人々は幸せをしっかりと感じているのです。

つまり、幸せは、一人一人が心で実感できることなのです。精神的な満足感とも言えます。たとえ貧しくても皆で仲良く分け合って食事ができたなら、黙ったまま気まずく食べるよりずっと美味しいでしょう。

「一切れのかわいたパンがあって、平和であるのは、ごちそうと争いに満ちた家にはない。」
これは、お互いが思いやりを持って分け合う心を大切にするのです。豊かになったけれども個人主義や成果主義になり、他人のことまで考えられない、自分のことで精一杯なのでしよう。

確かに一部の人はボランティアなど活動されていますが、ほとんどの人々が忙しさの中で自分中心の生活になっているのです。

国連では毎年三月二十日を国際幸福デーに決め、幸福とは何かを考えることとしました。家族と一緒に話し合うことも良いでしょう。

◎本当の幸せ、満足を得るには・

生きるためにはモノもお金も必要です。しかし、それらが第一と考えるところが問題です。モノやお金に振り回されない生き方ができるなら幸せを手に出るのではないのでしょうか。

「人はパンだけで生きるのではなく、神のすばるべきことばによむる」(聖書)とあります。

その他、幾つか紹介します。
わたしがあなた方を愛したように、あなた方も互いに愛し合いなさい。

あなた方にわたしの平安(安心)を与えます。わたしはあなた方といつまでも共にいます。

これらは聖書のことばです。一度、聖書から心を満たす

ことばを得てみませんか。真の生き方を見出すでしょう。



俳句

子すずめが梅にとまりて一休み
山並みに白き衣の天王山

Y子

短歌

よく似たる子の手を引きて七五三
六甲や冬虹ひくく架かりたる

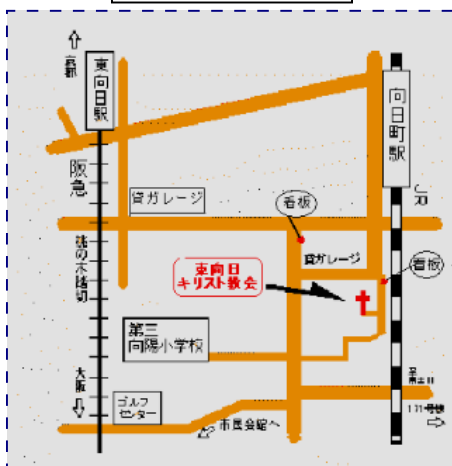
古都葉

コンクリートの上で力の尽きし蝶
やわらかき地にそっと埋めたり

古都葉

ふところに反抗期の子がかえりくる
三十八度の熱が出た夜

教会案内図です



クリシタン大名黒田官兵衛

◎大河ドラマの軍師官兵衛とは。

今、NHKの大河ドラマで放映中の「軍師官兵衛」はどのような生涯を送ったのでしょうか。ホームページの一部を紹介します。

「人は殺すより使え。黒田官兵衛は生涯五十数度の合戦で一度も負けを知らなかった戦いの天才だが、槍や刀で人を殺すのでなく、智力で敵を下した。信長、秀吉、家康に仕えたが、余りの才能故に警戒され、次の天下人とまで恐れられた。それでも乱世を見事に生き抜き、九州・福岡五十二万石の礎を築いた男である。

彼は和歌や茶の湯を愛した文化人であり、敬虔なクリスチャンとして信仰を貫き、側室を持たず、ただ一人の妻と添い遂げた律儀な男である。」

◎あの戦国時代にクリシタンになったのか。

あの戦国時代に、しかも家康が禁教令を出した時代に信仰を持ち続けることは至難のわざであったと思われます。当時の宣教師フロイスの「日本史」に次のように書かれています。

「官兵衛は朝、ひざを折り、手を合わせ、祈り、神の前に感謝をささげた。その姿から一同は感銘を受けた。」とあります。

彼は二十歳の頃、堺の町で宣教師からクリスト教に出会いました。人生は出会いで決まると言いますが、官兵衛の心をつらえ、彼の生涯を光ある

るものとしたのです。

その二十年后になります。秀吉の家臣として共に仕えた高山右近に導かれて洗礼を受け、神を崇め、クリストを救い主と信じ、従っていく人生を歩みました。

◎クリストの教えとは何だったのでしょうか。

大河ドラマでは、宣教師から教えを聞いて官兵衛が涙する場面が出て来ました。「クリシタンには三つの掟があります。神(テウス)を信じること、救いを求めること、そしてお互いの大切」お互いの大切とは、隣人を自分のように愛することです。

裏切られ、いのちさえ失う危険にさらされた敵に対して復讐心を燃やす官兵衛にとって「敵を愛する」教えはどのように届いたのでしょうか。

◎現代人に対するメッセージは何でしょうか。

クリスト教が禁じられる時代を彼は生き続け、息子の黒田長政に家督を譲ります。彼の清廉な生き方は、時の権力者の信頼を得ました。また、相手に仕返しをするのでなく、赦し、受け入れる生き方は現代の私たちに大切な教訓となるのではないのでしょうか。

波乱に満ちた黒田官兵衛の生涯。続けて、大河ドラマをお楽しみください。



◎参考まで。黒田節は黒田家から・・・

「民謡黒田節」は官兵衛に仕えた母里友信(もりのともぶ)が黒田長政の使者として福島正則の元へ出かけました。正則は友信をからかい、大盃の酒を強要します。ついに飲み干した代わりに天下の名槍「日本号」を貰い受け持ち帰りました。黒田武士の面子を守った逸話が黒田節として歌い継がれたと言われています。

今後のイベントを 紹介します。

◎四月のイベント

三日(木)春の良い季節。花見会を行います。野外で昼食を楽しみましょう。

◎五月のイベント

十一日(日)恒例の「お茶会」です。椅子席でいただく立礼式です。どなたでもご参加ください。

◎六月のイベント

十五日(日)午後一時よりオーボエのコンサートを開きます。入場無料です。お楽しみください。